

専門研修のご案内【2～3月】

調布市内で働く福祉職のスキルアップのための研修です。集合形式及びオンデマンド配信形式で実施します。

	研修名	日時	講師	定員
①	【集合】障害者虐待防止研修 福祉職のダークサイドを考える	3月8日（金） 14:00～16:30	結城俊哉氏 （立教大学）	30名
②	【集合】発達が気になる子どもの 理解と支援	3月12日（火） 10:00～12:00	市川奈緒子氏 （元・白梅学園大 学）	30名
③	【オンデマンド配信】 （障害通所事業所向け） BCP（事業継続計画）策定研修 ～感染症編～	2月中旬～3月22日（金）	小島秀人氏 （障害福祉課）	なし

*①～③すべて障害福祉サービス等事業所施設運営費補助金の補助要件となります。

補助要件につきまして、ご不明な点は調布市障害福祉課にお問合せください。

◆参加費◆ 無料（先着順）※定員になり次第、受付を終了いたします。

◆対象◆ 調布市内在勤の福祉職員

◆場所◆ 調布市こころの健康支援センター本館2階活動室 AB

◆申込◆ 申込フォームにて受付 <https://forms.gle/29gySGBLPdDRKGdQ9>

QRコードからも読み取れます📱

◆申込期間◆ 1月5日（金）受付開始

締切は①は3月4日（月） ②は3月8日（金）

③は3月18日（月）



①	<p>【集合】3月8日（金）14：00～16：30 障害者虐待防止研修 福祉職のダークサイドを考える</p>	<p>○講義・グループワーク ○場所：こころセンター 本館2階健康活動室 AB</p>
	<p>日本では近年まで、「旧優生保護法」の下、障がい者に強制不妊手術を受けさせるといふ国家的な人権侵害が行われてきました。2016年に「障害者差別解消法」が施行されてからも施設内での障がい者、高齢者に対する虐待事件は起り続けています。本研修では、これまで「虐待予防」や「ケアの本質・実践とは何か」について考え、自らも悩み続けながら現場の福祉職を応援している立教大学の結城俊哉先生をお招きし、福祉職（ケアの担い手）による虐待問題と優生思想について考えます。利用者との援助関係において生じる「怒りや悲しみ、恐れや不安」など様々な否定的感情にさらされる福祉職のこころの闇（ダークサイド）から虐待や差別を捉える研修です。特に福祉職が「こころの健康」を保ちながら働き続けるのに役立つ内容です。</p> <p>***** 《結城俊哉先生プロフィール》</p> <p>主な研究テーマは障害福祉学、ノーマライゼーション、福祉文化論。東日本震災以後の被災地におけるコミュニティのリジリエンスとケアの方法について基盤研究や、障害者の自己表現活動としてのアール・ブリュットなどの研究に取り組む。著書に『ケアのフォークロア 対人援助の基本原則と展開方法を考える』（高菅出版）、『共に生きるための障害福祉学入門』（大月書店、編著）などがある。</p>	<p>結城俊哉氏 （立教大学教授）</p>

②	<p>【集合】3月12日（火）10：00～12：00 発達が気になる子どもの理解と支援</p>	<p>○講義 ○場所：こころセンター本館2階健康活動室 AB</p>
	<p>本研修では、発達が気になる子どもの行動の背景をどう見立て、支援につなげていくかについて、児童発達支援センターなどで福祉職や保育者とともに長年活動してこられた市川奈緒子先生にお話していただきます。</p> <p>特に放課後等デイサービスや学童クラブの職員におすすめの研修です。</p> <p>***** 《市川奈緒子先生プロフィール》</p> <p>白梅学園大学子ども学部・大学院子ども学研究科元教授。児童発達支援センターうめだ・あけぼの学園心理職等を経て、児童発達支援事業所や保育所、小中学校のコンサルテーションで現場の教員、保育者とともに学ぶ。主な研究テーマは障害を持つ子どもと家族を支える地域支援・地域連携。著書に『気になる子の本当の発達支援』（風鳴舎）、『子ども一人ひとりが輝く個別指導計画』（フレーベル館）などがある。</p>	<p>市川奈緒子氏 （元・白梅学園大学教授）</p>

③	<p>【集合】（障害通所事業所向け） 1月26日（金）10：00～12：00 BCP（事業継続計画）策定研修～感染症編～</p>	<p>○講義 ○場所：こころセンター本館2階健康活動室 AB</p>
	<p>※別途配信中（12/1(金)～3/22(水)）の「BCP（事業継続計画）策定研修（通所事業向け）」を視聴のうえで受講してください。</p>	<p>小島秀人氏 （障害福祉課）</p>